

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名		危機管理室		部長名		南野 徹		
1. 中長期的な取組方針								
今後、本市に最も大きな被害をもたらすであろう地震災害に備えた、災害体制の構築等に重点を置き、特に職員と地域防災力（消防団・自主防災組織等）との連携強化を図り、より実践的な訓練を行うことにより課題や課題点を修正し、災害時には迅速で的確な対応を可能なものとする。 また、災害時等の災害対応能力の向上及び市民への災害情報の伝達力の強化は、防災支援システム及び防災アプリ等（以下、「システム等」という。）の運用及び防災訓練により、大東での暮らしをどこよりも安全・安心なものとする。								
2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上	（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
	（目標値）							
	（実績値）							
3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）								
【重点分野】								
危機管理の徹底								
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
災害等に対して安全・安心なまちに対する市民満足度	（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%	
	（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%			
	（目標値）							
	（実績値）							
【重点分野】								
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	（目標値）							
	（実績値）							
	（目標値）							
	（実績値）							
【重点分野】								
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	（目標値）							
	（実績値）							
	（目標値）							
	（実績値）							
4. 令和5年度の取組方針		令和5年度の実績						
「地域防災計画」に基づいた防災体制の構築強化を図るべく、関係機関及び地域防災力との連携強化に取り組み、特に、本年度から運用するシステム等の早期戦力化及びシステム等を使用した実践的な防災訓練により、災害対策本部の活動能力の向上及び災害情報伝達力の強化を図る。 また、地域防災力の向上として、避難体制の充実を図るため、自主防災組織と連携し、地区防災計画、コミュニティタイムライン等の作成の推進をするとともに、災害弱者の避難率を上げるための、個別避難計画の作成及び社会福祉施設との防災訓練の実施により各種災害から「逃げ遅れゼロ」を目指す。 さらに、災害関連死を防ぐため避難生活充実化として、防災倉庫の建設、備蓄物資の充実化及び各種企業等の災害協定の締結を推進する。		地域防災力の向上として、地区防災計画の作成を希望された3地区の自主防災組織に対し作成支援を行い、1地区は完成、1地区は概ね完成しており、その取組成果（コミュニティタイムラインの作成及び個別避難計画に直結する避難行動要支援者の避難要領の検討）を各自主防災組織に対し普及に努めた。引き続き実施していただける地区の増加を図る。 また、市が実施する防災訓練は、要配慮者利用施設と連携した防災訓練、新しく導入した防災支援システムを活用した災害対策本部の図上訓練及びペットの避難を盛り込んだ避難所開設訓練等、近年、災害において、課題となっている事象の解消に取り組んだ内容の防災訓練を実施し、各種計画・マニュアル等への反映するとともに、更なるステップアップを図った。更に、避難生活の充実化を目指し、防災倉庫の新設、ラップボン等の備蓄に努めるとともに、当初予定していた数以上の企業との災害協定を締結したことは、本市の防災力が大幅に向上したと料する。						

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	政策推進部	部長名	野村 政弘
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針 第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本的な考え方を踏まえ、「選ばれるまち」として機動性と先進性、柔軟性を備えた戦略を推進し、大東に住む人、大東に関わる人を一人でも増やしていくことができるまちづくりを展開する。 1）大東が他市に先駆けて取り組んできた「公民連携」「住民自治」の発想により、多様な関わりをまちづくりに取り入れていく。 2）誰も排除されず、あらゆる人が自分が生きたいような生き方を選択できる社会を作る。大東の中で培われてきた自主性の尊重、自発的な協力や取引を重視し、市民により近いところで課題解決に取り組む。 3）魅力的な大東市になるためにオープンでコラボティブ（公民連携）で多様な能力や資格を持った人々が参画する仕組みを整える。 4）行政を再発見し、効率や競争力を重視するのではなく、実際の効果、アウトカムを測る。共感を軸として機能するように市民を取り巻く環境、状況を包括的に理解しデザインする。
--

2. 関連する総合計画の基本目標 【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
健康寿命の延伸（目標値）		平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
（実績値）	平均寿命 男性：80.6歳 女性：86.4歳 健康寿命 男性：77.0歳 女性：82.2歳 （平成27年）	—	—	—			
市民の経済力の向上（目標値）		課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上
（実績値）	課税対象所得府内平均以下（平成29年）	課税対象所得府内平均以下（令和3年）	課税対象所得府内平均以下（令和4年）	—			
人口構成バランスの適正化（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減			

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度） 【重点分野】 危機管理の徹底	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
災害等に対して安全・安心なまちに対する市民満足度（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%
（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%		
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】 エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
駅前の地価の上昇（目標値）		1.8・2万円 1.6・2万円 2.5・1万円	1.8・4万円 1.6・3万円 2.5・2万円	1.8・6万円 1.6・5万円 2.5・3万円	1.8・8万円 1.6・6万円 2.5・4万円	四条畷駅19万円 野崎駅16.8万円 住道駅25.5万円
（実績値）	四条畷駅18万円 野崎駅 16万円 住道駅 25万円	1.8万円 1.6万円 2.5万円	1.8万円 1.6万円 2.5万円	1.8万円 1.6万円 2.5・5万円		
住みたい自治体ランキング 関西版（目標値）						30位以内
（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外		

【重点分野】 確かな学力の向上と教育環境の充実	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合（目標値）						国平均以上
（実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 高 校 小：85.8% 中：81.9% （令和元年度）	大東市 小：76.7% 中：75.0% 高 校 小：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 高 校 小：85.4% 中：82.9%	大東市 小：80.5% 中：74.5% 高 校 小：85.3% 中：81.8%		
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】 総合戦略の推進を支える体制（行政サービス改革）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
経常収支比率の改善（フロー）（目標値）						大阪府平均以下
（実績値）	大東市 99.0% 大阪府 95.7%	大東市 98.9% 大阪府 92.0%	—	—		
将来負担比率の維持（ストック）（目標値）		将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし
（実績値）	将来負担なし	将来負担なし	—	—		
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化率（本市にかかもの）（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%		
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%		

4. 令和5年度の取組方針 ●総合戦略に掲げる事業等に際し、現実化に向けたアップデートを推進し、一人ひとりの幸せの実現に向けた取組を進める。 ●先駆的な取組や魅力ある事業展開をはじめ、大東の魅力を市内外に効果的に発信するシティプロモーションを創出し、大東ファンを増やすとともに、定住・関係・交流人口の増加を図る。 ●「幸せデザイン大東」を推進するにあたり、定性的な進捗状況の確認・検証を行うとともに、関係各部との連携を強化し、施策推進の着実な進捗を図る。	令和5年度の取組実績 ●財政状況や予算要求に向けて必要となる考え方等の全庁的な勉強会を戦略企画課、財政課、公民連携推進室の3課で連携して開催したほか、EBPM勉強会やEBPMの視点に基づいた予算インセンティブを実施する等、効果的な政策立案に向けた職員の意識醸成を図った。 ●デジタル人材の育成に向けて、サービスデザイン思考や業務改革をテーマとした研修を行うとともに、DX化の視点をもって予算要求を行う仕掛けづくりに取り組んだ。 ●シティプロモーションを広報業務と一体化し、広報媒体全体をブランドメッセージに基づくポジティブな情報発信を積極的に行った結果、近畿市町村広報誌コンクールで優秀賞を受賞した。
--	---

令和５年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	総務部	部長名	鳥山 和郎
----	-----	-----	-------

１．中長期的な取組方針 第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を支ええる体制構築のため、ICTの活用をはじめとした利用者の利便性の向上に向けた行政サービスの提供に努める。また、そのためには職員の意欲を高め、能力を最大限に引き出すことが不可欠であることから、職員の成長が組織力の向上につながる人材マネジメントの推進に取り組んでいく。

２．関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ１２年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
（目標値）							
（実績値）							

３．総合戦略推進にかかる取組み（～令和７年度）							
【重点分野】							
総合戦略の推進を支ええる体制（行政サービス改革）							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%	
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%			
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%	
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%			

【重点分野】							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

４．令和５年度の取組方針	令和５年度の取組実績
大東市DX基本計画に基づき業務のデジタル化に向け、引き続き取り組んでいく。また、その実現のためには、原動力となる人材の確保と職員の意欲の向上が不可欠であることから、人材マネジメントの強化と採用方法の改善により、人材の定着と採用力の強化を図る。	総務部では、第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を支ええる体制の構築に向けてICTを活用した業務の効率化や高度化、行政サービスの提供に資する施策に取り組んできた。 特に、「固定資産税業務におけるオンライン評価証明書申請サービスの導入」、「市税納付におけるキャッシュレス決済の拡充」においては一定の成果が表れた。 また、職員採用については、試験の実施方法や周知方法の改善を行いながら、人材の確保に努めてきた。加えて、新任の課長、課長補佐、上席主査を対象にマネジメント研修を行い、マネジメント力の強化を図った。

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	市民生活部	部長名	木村 吉男
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
「第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、未来につなぐ環境づくり、環境にやさしいまちづくりを目指して、引き続きプラスチックごみ削減の取組み「だいたいプラスチックごみゼロ宣言」の実行、食品ロス削減を推進する。また、地域の脱炭素化を目指し、住民・地域企業など地域が主体となって積極的に取り組み、地域の持続的発展を実現する方向性、具体的取組方針を示す大東市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、カーボンニュートラルを目指す企業の立地、投資上の魅力を高めるなど、地域産業の維持向上につなげる。加えて、本市の産業等活性化や環境保全に資することを目的に、地下水採取の規制緩和を行い、地域資源としてのまちづくりやブランド化について検討する。更には、まちに対する市民の愛着の醸成をはかるために市民協働・住民自治の取組を進め、市民の皆さんが地域に関心を持ち、地域のひとと人のつながりを基にして助け合い、支えあうことができる住み良い地域社会づくりを目指すとともに、安全で安心な住みよい地域社会の実現のため、四條畷警察との協議に基づき選定した防犯カメラ設置重点ポイントへの設置を計画的に進めていく。行政サービスのデジタル化のさらなる進展のために中核となるICTを活用した行政サービスに寄与するマイナンバーカードの取得促進、窓口予約制等の滞留時間短縮の仕組みを更に充実させる。

2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上	（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
	（目標値）							
	（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住みたい自治体ランキング関西版	（目標値）						30位以内
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外		
資源化率	（目標値）		17.3%	18.0%	18.7%	19.4%	20.1%
	（実績値）	16.6%	17.6%	17.00%	集計中		
庁内の温室効果ガス排出量削減率	（目標値）		38.2%	38.4%	49.8%	51.6%	53.4% (R12.62%)
	（実績値）	49.0%	45.0%	48.0%	集計中		
交通災害共済の加入率	（目標値）		26.5%	27.0%	28.0%	29.0%	30%
	（実績値）	26.2%	25.1%	24.3%	23.37%		
マイナンバーカードの普及率	（目標値）		50.0%	55.0%	60.0%	80.0%	83.0%
	（実績値）	28.2%	43.0%	64.2%	76.14%		

【重点分野】

総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%		
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%		

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和5年度の取組方針	令和5年度の取組実績
● 市民が安心して生活ができるまちづくりを推進するために、SDGsのゴール・ターゲットを意識し、全ての事業を実施する。 ● 常に、部全体での情報共有、人材育成を意識することはもとより、本市の住みよいまちづくりに必要な施策を総合的に検討し、部に属する職員が集い、考え、話し合うことで組織の活性化、職員の能力向上等を図り、誰もが安心して発言・行動ができる職場環境を構築するため、令和2年度より実施している部全体の勉強会を引き続き実施する。 ● 各課が抱える課題解決へ向け、具体的に動き成果を表すことで、職員が誇れる職場を構築する。 【具体的な施策】 ①市民協働・住民自治の充実、②交通災害共済の加入率向上、③市管理防犯カメラの設置、④粗大ごみ有料化、⑤地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定、⑥地下水取水制限の緩和、⑦マイナンバーカードの普及促進および窓口業務改善（DX化）	①市民協働・住民自治の充実：市民・関係団体等と協働で実施する「市民まつり」を4年ぶりに開催。推計で24,000人が来場され、大変な盛り上がりを見せた。また、提案公募型委託事業を実施し、三好長慶のPR事業や空家再生事業、地域猫活動など、行政だけでは困難なきめ細やかな市民サービスを提供。 ②交通災害共済の加入率向上：加入率23.3%（R6.2.29現在）。加入率は微減傾向だが、R5.8月より、オンライン申請・キャッシュレス決済の導入、ギブス等装着期間を通院期間と見なす等、制度の充実を図った。 ③市管理防犯カメラの設置：四條畷警察と協議し、過去の犯罪や事故等のデータ等に基づき設定した「街頭防犯カメラ設置重点ポイント」18か所のうち3か所について市管理の防犯カメラを設置。今後も年次計画により設置を進める。 ④粗大ごみ有料化：R5年7月から導入済。制度実施後、大きな混乱等もなく、ごみの減量化にもつながっている（粗大ごみの減少率約40%）。また歳入確保にも寄与（令和5年度歳入見込み額約1,000万円）。 ⑤地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定：R6.1.15に策定業務完了。広報4月号にて市民に公表し、脱炭素社会の実現に向け取り組んでいく。 ⑥地下水取水制限の緩和：条例改正を3月議会に上程。規制緩和を周知するとともに、地盤環境を監視していく。 ⑦マイナンバーカードの普及促進および窓口業務改善（DX化）：マイナンバーカード取得促進の施策として、前年度に引き続き月1～2回日曜日に交付窓口を開設。窓口の業務改善（DX化）を図るため、10月1日から証明書発行とパスポート申請の電子申請制度を導入。

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	市民生活部（人権室）	部長名	佐々木 由美
----	------------	-----	--------

1. 中長期的な取組方針
「第5次大東市総合計画」の基本目標である、一人ひとりの幸せの実現を図るため、改訂した「人権行政基本方針」をもとに、多様化、複雑化した人権問題を行政施策に反映させ、一人ひとりの多様な生き方を認め合い、豊かにつながり合えるまちづくりの推進に努める。さらには、差別事象に対して的確な対応を行い、人権教育・啓発の取組みを推進する。また、市職員の人権意識の向上を図るとともに、市民、関係機関との協力、連携を深め、まちづくりに関わる様々な主体が一丸となった人権尊重のまちづくりを進めていく。

2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度	
大東に対する満足度の向上	（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上	（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
	（目標値）							
	（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住みたい自治体ランキング 関西版	（目標値）					30位以内
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	
	（目標値）					
	（実績値）					

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%		
	（目標値）						
	（実績値）						

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和5年度の取組方針	令和5年度の取組実績
●人権行政基本方針に基づく取組み 市民の基本的人権の確立・保障に関わっているという認識に立って施策に取り組んでいるかを把握する。市職員の人権意識の向上につなげる。 ●男女共同参画社会の推進 男女共同参画社会行動計画の改訂（中間見直し） ●ネットワーク大東設立10周年記念事業の実施 ●同和行政基本方針の改訂に向けての研究（令和6年度年度改訂予定） ●人権啓発モニュメントの設置検討（令和7年度設置予定）	●人権行政基本方針に基づく取組み 人権行政基本方針に基づき、市の事業が市民の基本的人権の確立・保障にどのように関わっているのか、各課へ照会を実施、精査した。 ●男女共同参画社会の推進 男女共同参画社会行動計画の中間見直しを行い、第4次大東市男女共同参画社会行動計画（改訂版）を策定した。 ●ネットワーク大東設立10周年記念事業の実施 人権について身近に感じてもらうためのマスコットキャラクターの作成及び団体愛称の募集を行い、啓発グッズの作成を行った。 ●部落差別に関する市民意識調査の実施に向けて、調整中である。

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	福祉・子ども部	部長名	田中 正司
----	---------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第2期大東市まち・ひと・しごと・創成総合戦略の重点分野「出産や子育ての安心と魅力の創設」に向けた、子育て世代が子どもを産み育てることに楽しむことのできる環境を構築することにより、「子育てするなら、大都市よりも大東市。」のブランド力の強化と定着を図る。このため、ネウボラを中心とした妊娠・出産から子育てに至る切れ目のない支援の提供と、子育てに前向きにチャレンジする希望を持てる、多様な子育て支援メニューの充実に取り組み、子育てへの安心と信頼を醸成する。

また、人生100年時代の到来に向けた、心も身体も元気なまちづくりの一環として、障害者が将来に渡って安心して暮らすことのできる支援に取り組む。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上 （目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上 （目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
人口構成バランスの適正化 （目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減			

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】

出産や子育ての安心と魅力の創出

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
年間出生数 （目標値）		839人	887人	920人	960人	1,000人
（実績値）	799人	780人	724人	727人		
若年者層（0～14歳・20～44歳）の社会増減 （目標値）		社会増	社会増	社会増	社会増	社会増
（実績値）	△404人	△428人	△263人	△326人		
「保育環境が充実した子育てしやすいまち」と感じる人の割合 （目標値）		26.6%	33.9%	41.3%	48.6%	56%
（実績値）	19.2%	20.4%	19.0%	24.3%		

【重点分野】

健康寿命の延伸

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
福祉施設から一般就労への移行者数 （目標値）		30人	34人	39人	43人	47人
（実績値）	26人	31人	—	—		
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和5年度の取組方針

子どもを安心して産み育てられる相談支援体制の充実に向け、大東市版ネウボラの支援の網を一層稠密化するため、妊娠・出産期から学齢期までの切れ目のない支援の実現に向けた、子ども・子育て支援、母子保健、学校教育の連携に取り組むとともに、子ども家庭庁が目指す「伴走型支援」の確実な推進を目指す。

また、生活困窮者や障害者等が安心して暮らしていける社会を実現するため、「地域福祉計画」及び「障害福祉計画」の次期計画策定を進め、支援を必要とする人それぞれの実情に応じた支えを提供できる体制を構築する。

令和5年度の取組実績

出張ネウボラについては、歴史とスポーツふれあいセンターに協力してもらい、一度開催を実施し、参加者から好評を得ることができた。また、5歳児アンケートを通じ、子育て世帯の就学前での困りごとを拾い上げ、フォローが必要な場合については、個別相談を実施し、不安や悩みの解消を行った。

「地域福祉計画」

取組実績：第4期計画の基本理念を引継ぎ、地域共生社会の実現に向けて「包括的な支援体制づくり」を基本的な視点の一つと設定し、福祉に関連する各分野の施策を体系化するとともに、「成年後見制度利用促進基本計画」や「再犯防止推進計画」を包含し、計画期間を6年として策定した。

「障害福祉計画」

取組実績：国の基本方針等に即した基本理念と9つの基本視点を設定するとともに、障害福祉の充実に向けて、障害福祉サービスや児童通所支援事業等各事業の目標・見込量の設定を行うなど、向こう3年の具体的な取組を明らかにした。

令和５年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	保健医療部	部長名	北田 吉彦
----	-------	-----	-------

１．中長期的な取組方針							
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「健康寿命の延伸」のために、これまで取り組んできた健康づくりの素地をアドバンテージとして、人生１００年時代を先導する心も身体も元気なまちを築いていく。そのためにはそれぞれの身体状況や生活状況に応じて活躍できる場や交流できる場を創出し年齢に関わらず社会に様々な形で参画機会を設ける。具体的には大東元気でまっせ体操による健康寿命延伸と介護費削減、居場所づくりを進め、健康意識の向上に向けた独自の取組を進める。							

２．関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ１２年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
健康寿命の延伸（目標値）		平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
（実績値）	平均寿命 男性：80.0歳 女性：86.4歳 （平成27年） 健康寿命 男性：77.99歳 女性：82.22歳 （平成27年）	—	—	—			
人口構成バランスの適正化（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減			

３．総合戦略推進にかかる取組み（～令和７年度）							
【重点分野】							
健康寿命の延伸							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
健康寿命の延伸（目標値）		平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	
（実績値）	平均寿命 男性：80.0歳 女性：86.4歳 （平成27年） 健康寿命 男性：77.99歳 女性：82.22歳 （平成27年）	—	—	—			
特定健康診査受診率（目標値）		33.5%	33.8%	34.1%	34.4%	34.7%	
（実績値）	30.3%	31.2%	31.8%	22.1% （2月末までの請求分）			
主観的な健康感（健康だと感じる人の割合）（目標値）		79.2%	80.9%	82.6%	84.3%	86%	
（実績値）	75.7% （令和元年度）	—	73.5%	—			

【重点分野】							
出産や子育ての安心と魅力の創出							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年	Ｒ４年	Ｒ５年	Ｒ６年	Ｒ７年	
年間出生数（目標値）		839人	887人	920人	960人	1,000人	
（実績値）	799人	780人	724人	727人			
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

４．令和５年度の取組方針		令和５年度の取組実績
「第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、特定健康診査等、各種検診受診率の向上に努めるとともに、高齢者を対象とした介護予防にかかる各種施策に積極的に取り組むことで、平均寿命の伸びを上回る「健康寿命の延伸」を図る。		令和５年度からがん検診では自己負担を完全無償化し、年度当初にはサイズ・情報量においてインパクトのある圧着はがきでの個別通知を行うなど、周知・勧奨を強化したことにより、受診者数は例年よりも上昇している。 また、『健康寿命の延伸』の取り組みとして、【高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施】、【地域包括支援センターにおけるＩＣＴを活用した介護相談機能の強化】、【ＩＣＴを活用した高齢者の孤立化防止】、【認知症サポーター・生活サポーター活動のさらなる推進】を具体的施策に掲げ、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターが行う介護予防や地域活動にコーディネートする各種取組みと連動する形でを行い、おおむね目標に到達している。令和６年度は更なる事業の充実を図り、元気な高齢者を増やし、『健康寿命の延伸』に繋げていく。

令和５年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	都市経営部	部長名	東 克宏
----	-------	-----	------

１．中長期的な取組方針

行政主導の大きな開発で経済を回すシンプルな１つの渦から小さな経済の渦がシンクロし、相互に干渉・共鳴して面（エリア）を活性化させる。この小さな渦は民間のノウハウや資源と大東市が有する資源、特に公園、道路など公益資産を掛け合わせて生まれる。まちの豊かさは建物、敷地の価値から「都市空間」や「回遊性・快適性」といったエリアの豊かさに概念を拡張、大東でしか味わえない楽しく快適かつ安全・安心で持続可能なまちを創出していく。中長期的な都市政策の方針である「大東市都市計画に関する基本的な方針」に掲げるまちづくりのコンセプトである１）安全・安心でいきいきと暮らせるまちづくり２）社会変化に対応する持続可能なまちづくり３）愛着と誇りの持てる魅力的なまちづくりに沿って将来像“地域がつながる魅力を伝える未来へ届ける幸せのまち大東”の実現を図る。

２．関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ１２年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
（目標値）							
（実績値）							

３．総合戦略推進にかかる取組み（～令和７年度）

【重点分野】

危機管理の徹底

【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%
（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%		
住宅の耐震化（目標値）		83.0%	86.0%	92.0%	93.5%	95%
（実績値）	80%（平成27年度）	—	—	—		

【重点分野】

エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出

【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
駅前地の地価の上昇（目標値）		18.2万円 16.2万円 25.1万円	18.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円	四条線駅19万円 野崎駅16.8万円 住道駅25.5万円
（実績値）	四条線駅18万円 野崎駅16万円 住道駅25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円		
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】

【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

４．令和５年度の取組方針

令和５年度の取組実績

都市を経営するという基本的な考え方の下、民間投資のトリガーとなるべく、未利用な公的資産を民間に開放することを重視し、公民連携手法を駆使してエリア価値の向上をはかる。具体的には住道駅周辺については、民間事業者等と連携して都市空間の魅力創出について検討するとともに駅前デッキ、末広公園等における民間主体の取組をさらに後押しする環境を整備する。
・野崎駅周辺については、市営深野園住宅建替えを契機としてエリア全体のまちづくりの方向性をビジョンとしてまとめる。
・ファシリティマネジメントの観点から、公共施設等の予防保全を進めるために各施設で策定された長寿化計画を統合し全体計画の策定を進める。

住道駅周辺については、駅前デッキや末広公園等の公共空間を利用した地域活性化・賑わい創出のため、「住道駅周辺等活性化応援団」を１１団体認定。各応援団のサポートや駅前デッキ整備方針策定に係る意見・提案のとりまとめ等を行う応援団コーディネート業務と整備方針策定業務を行い、駅前デッキの整備方針を策定した。
野崎駅周辺については、市営深野園住宅の建替え候補地を決定するため、地元協議を進め、現地建替えでの意向を確認した。
ファシリティマネジメントの一貫として、公共施設の維持管理等に係る予算配分に対して、専門性かつ効果的・効率的な優先度の評価及び順位付け等を行った。

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	都市整備部	部長名	村田 大亮
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針							
市民お一人おひとりが幸せを実感でき、これからも住み続けたいと感じる街を目指し、市民や民間のノウハウや資源と大東市が有する資源を掛け合わせ、まちの魅力の対象を「都市空間」や「回遊性・快適性」といった概念にも広げ、エリア価値を高め、大東でしか味わえない楽しく快適かつ安全・安心で持続可能なまちを創出していく。 高齢化やコロナ禍、SDGs等による価値観の変化に配慮しつつ、本市の強みである交通至便性や豊かな自然などを活かした魅力あるまちづくりに加え、立地適正化計画等を有効に活用しながら災害ハザードエリアに対する安全・安心のまちを目指すとともに、都市を支える道路・橋梁・ポンプ施設等の老朽化対策等にも積極的に取り組む。 あわせて、都市の基盤を形成する野崎駅・四条駅周辺整備などの現在進行中の事業については、着実に推進するとともに、道路等の基盤施設の適正な維持管理に努める。							

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%		
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%		
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	（目標値）	30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%	
	（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%		
	（目標値）						
	（実績値）						

【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
駅前の地価の上昇	（目標値）	18.2万円 16.2万円 25.1万円	18.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円	四条駅19万円 野崎駅16.8万円 住道駅25.5万円	
	（実績値）	四条駅18万円 野崎駅 16万円 住道駅 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25.5万円		
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	（目標値）	18.7%	22.0%	25.4%	28.7%	32%	
	（実績値）	15.4%	16.6%	15.3%	19.1%		

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	（目標値）						
	（実績値）						
	（目標値）						
	（実績値）						

4. 令和5年度の取組方針		令和5年度の取組実績					
①選ばれるまち・持続可能なまちづくり（アフターコロナ、SDGsを意識したまちづくり） 人口減少、少子高齢化に加え、コロナ禍に端を発した社会情勢の変化から都心近郊の自然豊かで交通利便性が高い本市の魅力が再認識されると見込まれる。SDGsを意識し選ばれるまち、住みよい街づくりを進めるとともに、地震や豪雨などの自然災害にも対応した持続可能なまちをめざす。 ②安全・安心のまちづくり 老朽化する橋梁等都市施設の適切な維持管理を継続し、浸水対策に有効なポンプ場については再整備に向け策定されたポンプ場更新計画に基づき事業実施を行う。 ③まちづくりを担う職員の育成 職員の能力向上と横断的な連携を目的とした施策検討会及び人材育成や技術力の向上及び継承のため設計審査会を継続実施する。業務の進捗状況や課題等の情報共有を徹底するため定期的に事務研究会を実施しリスクの早期発見や新規事業や業務改善などを誰もが提案可能な職場環境を整える。		①都市の基盤を形成する野崎駅・四条駅周辺整備については、野崎駅東西駅前広場整備が完了し、野崎駅周辺のエリア価値向上に寄与した。また、市民の移動手段の確保に向け、公共交通の全市路線見直しのための調査等や「おでかけ公共交通マップ」を更新し、公共交通の周知を行った。加えて、都市公園について再整備計画に則り整備等を行い、地域の望まれる特色ある公園づくりを進めた。 ②安全・安心のまちづくりの実現に向け、橋梁長寿命化計画による適切な維持管理を継続して実施した。浸水対策事業として灰塚小学校校庭貯留施設整備を行うとともに、ポンプ場更新計画に基づいた深野第1ポンプ場の基本設計を完了した。 ③施策検討会については、都市整備部各課だけでなく都市経営部各課も参加し、意見交換や情報共有等を図るとともに、設計審査会でも、都市経営部2課の参加もあり、両部3課計3案件について、人材育成や技術力の向上のため、積極的な検討を行った。また、各課においては定期的な事務研究会で現状把握を行うとともに、必要に応じて随時意見交換を行い、リスクの早期発見や業務改善等に努めた。					

令和５年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	産業・文化部	部長名	北田 哲也
----	--------	-----	-------

１．中長期的な取組方針							
第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「６チャレンジする人と産業の後押し」に掲げる柔軟性と強靱性を備えた産業基盤の構築、新技術などへのチャレンジ支援や、非製造業も含めた産業誘致なども検討し、ものづくり産業とそれ以外の産業が重層的かつ相乗的に地域経済を支えるまちを築く。 ・ものづくり産業と教育機関の集積という大東の強みを活かし就学から就職・勤労に至るまで切れ目なく人を育む仕組みを構築する。 ・時代の変化にも揺らぐことなく企業競争力を維持・強化できるよう、ICTの活用や大学の研究と連携した産業技術の向上などの支援を行う。 ・新たな産業誘致やスタートアップなどを後押しし、大東市を支える産業のすそ野を拡大する。 ・本市魅力資源を観光資源へと横展開し、商業（飲食店・小売店等）と結びつけることにより、地域経済活性化につなげる。 また、アフターコロナを見据えた産業振興、歴史的資源の保存や年齢を問わず学ぶ意欲を喚起する生涯学習、観光資源の磨き上げを担う観光施策を融合・連携させ、相乗効果を生み出していく。							

２．関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ１２年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
市民の経済力の向上（目標値）		課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上
（実績値）	課税対象所得府内平均以下（平成29年）	課税対象所得府内平均以下（令和3年）	課税対象所得府内平均以下（令和4年）	—			

３．総合戦略推進にかかる取組み（～令和７年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
住みたい自治体ランキング 関西版（目標値）							30位以内
（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外			
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
チャレンジする人と産業の後押し							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
地域職業相談室からの就職件数（目標値）		783件	888件	991件	1,096件	1,200件	
（実績値）	678件	753件	集計中	797件			
全産業の付加価値額（万円／事業従事者1人あたり）（目標値）							大阪府付加価値額以上
（実績値）	大東市：458万円 大阪府：585万円（H28年）	—	—	—			
創業者件数（目標値）		45件	47件	47件	49件	50件	
（実績値）	43件	53件	集計中	—			
「産業（商業・工業など）が元気な活力のあるまち」と感じる人の割合（目標値）		22.0%	29.0%	36.0%	43.0%	50%	
（実績値）	15.0%	20.3%	17.6%	22.4%			

【重点分野】							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

４．令和５年度の取組方針	令和５年度の取組実績
本市の強みであるものづくり産業の集積を活かしながら、DXの更なる進展を推し進めることで、社会情勢や時代の変化に対応しうる柔軟性と強靱性を備えた産業基盤の構築を図る。また、個々の企業が培ってきたノウハウや人材、設備機能などを持ち寄り、融合させる大東市版ブロックチェーンについての取組を複数展開する。 また、飯盛城跡「保存活用計画」と観光施策・産業振興との連携や、ｅスポーツへの関心や理解を得ることを目的にしたｅスポーツ競技大会の実施により、各世代間の交流の場を創出し、「大東ファン」を市内外に増やしていく。 観光分野では、本市の観光に係るポテンシャルを調査し、観光資源への展開を図るための戦略を構築していく。	以下のとおり、「大東市版ブロックチェーン構築」に向けた取り組み、および市内外における「大東ファン」創出に向けた取組を実施した。 【産業経済室】 個々の企業が培ってきたノウハウや人材、設備機能などを持ち寄り、融合させる大東市版ブロックチェーン構築に関する取り組みの１つとして、ものづくりプラットフォームサービスを市内企業へ展開。18社に参画いただいた。 【観光振興課】 市外への各種ブース出展、三好長慶ゆかりの地と連携してのデジタルスタンプラリーの実施、武者行列などを実施。武者行列では市外から観光ツアーの一環で武者行列にご参加いただいた。 【生涯学習課】 歴史資源の飯盛城跡と平野新田会所跡の「保存活用計画」を策定し、史跡の保存・活用・整備の基本方針と方法を定めた。 【スポーツ振興課】 家族間にｅスポーツを介したコミュニケーションの機会を増やし、子どもと保護者が共にｅスポーツの特性を理解する機会を設けることを目的として大会を開催した。

令和５年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	教育総務部	部長名	北本 賢一
----	-------	-----	-------

１．中長期的な取組方針
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。 加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてICTの積極的な活用を図る一方で、発達段階で必要な「人と人との豊かな関わり」にもきめ細やかに取り組んでいく。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%	55. 5%		
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%	56. 1%		
人口構成バランスの適正化	（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
	（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減		

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
確かな学力の向上と教育環境の充実						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						国平均以上
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合 （実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 国 小：85.8% 中：81.9% (令和元年度)	大東市 小：76.7% 中：75.0% 国 小：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 国 小：85.4% 中：82.9%	大東市 小：80.5% 中：74.5% 国 小：85.3% 中：81.8%		
（目標値）						
（実績値）						

４．令和５年度の取組方針	令和５年度の取組実績
【方針】 「確かな学力の向上と教育環境の充実」のため、学校教育政策部との連携を図り、特に、次のことについての政策的事業を建設的な姿勢で取組む。 【重点取組事項】 ①「徹底的家庭応援」のため、家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。とりわけ、「家庭教育支援事業」は、アウトリーチ型・サロン型・セミナー型の事業拡充を図るとともに、新たな領域の取組みにも研究をすすめる。 ②「小中一貫教育の推進と発展」のため、『（仮称）北条義務教育学校等の設置に関する基本構想』の策定をすすめる。この計画の策定にあたっては、「学校運営協議会」を基軸として議論展開を行い、地域等の意見を反映できるものに努める。 ③「学校施設・設備等の安全性の構築」のため、『大東市小中学校長寿命化計画』に基づき、学校施設の設計・工事を推進する。とりわけ、設計にあつては、民間事業者の提案を取り入れる仕組みに基づく対応を講じる。 ④「給食を柱とした食育の推進」のため、安全で安定したおいしい学校給食を提供するとともに食育の推進を図る。とりわけ、学校給食の提供は、地産地消の推進をはじめ、教育活動との連動を強化する。 ⑤「教育委員会情報の発信」のため、教育委員会の広報戦略を再構築し、広報力強化に努める。また、昨年度に引き続き、教育委員会会議の議事改革をすすめる。 ⑥青少年教育センターは、青少年の健やかな育成と人権意識の高揚を図るためのものとの認識に立ちながら、安全に配慮した運営を図る。	①家庭教育支援事業では、保護者の孤立防止、課題の早期発見、学習の機会や情報提供などを図るため、小1保護者に対してのアウトリーチ型支援、いくカフェのサロン型支援、講演会のセミナー型支援を実施した。とりわけ、小学校を卒業後の支援が手薄であった中学生保護者に対する支援として思春期保護者向けセミナーを実施した。 ②「小中一貫教育の推進と発展」のため、全中学校区において小中一貫教育の内容を充実させるとともに、北条中学校区においては、地域等の意見を反映するため、検討委員会や地域説明会を開催するなどして、義務教育学校等の設置に向けて『（仮称）大東市立ほうじょう学園の設置に関する基本構想』の素案を作成した。 ③長寿命化改良工事(住南小・南郷中)を完了するとともに、設計業務(諸福小・南郷小)は設計業者の提案を軸に質の高い設計図書を作成する一方で、四条北小設計業務は契約解除が生じたため、再発注の必要性が生じた。3中学校校舎空調更新工事(大東中・四条中・諸福中)、4中学校体育館空調工事(南郷中・大東中・深野中・谷川中)のほか、必要な改修工事を実施した。 ④食材費が高騰する中で所要額を確保し、安全で安定した学校給食を提供するとともに、地産地消の推進や実践的な食育授業の交流研究等を通じて食育の推進を図った。 ⑤教育委員会の広報戦略を策定し、新たにInstagramを活用するなど積極的な情報発信を行うことができた。教育委員会会議の議事改革としては、教育委員へのタブレットを貸与し会議資料のペーパーレス化を図った。 ⑥青少年教育センターでは、子どもたちにとっての居場所づくりとなるように、学習やスポーツをはじめとした自主的活動を支援し、また互いに認め合える人間関係を構築できるよう、人権教育に関する取り組みにも力を入れ、利用環境については日頃から十分な安全対策を講じるなど、子どもたちが安心して利用できる施設運営に取り組んだ。

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	学校教育政策部	部長名	渡邊 良
----	---------	-----	------

1. 中長期的な取組方針
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。 加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてICTの積極的な活用を図る一方で、各発達段階において必要な「人と人との豊かな関わり」について、きめ細やかに取り組んでいく。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%	55. 5%		
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%	56. 1%		
人口構成バランスの適正化	（目標値）	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
	（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減		

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
確かな学力の向上と教育環境の充実						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
全国学力・学習状況調査の標準化得点	（目標値）					100以上
	（実績値） 小学校 国語：98 算数：99 中学校 国語：98 数学：97 （令和元年度）	小学校 国語：98 算数：98 中学校 国語：98 数学：98	小学校 国語：98 算数：99 中学校 国語：99 数学：98	小学校 国語：98 算数：98 中学校 国語：98 数学：98		
不登校（学びへアクセスできていない） 児童・生徒数（千人率）	（目標値）					0人
	（実績値）	24.2人	27.2人	39.2人（32.5%）	92人 （学びへのアクセス）	
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合	（目標値）					国平均以上
	（実績値） 大東市 小：79.8% 中：75.0% 国 小：85.8% 中：81.9% （令和元年度）	大東市 小：76.7% 中：75.0% 国 小：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 国 小：85.4% 中：82.9%	大東市 小：80.5% 中：74.5% 国 小：85.3% 中：81.8%		

4. 令和5年度の取組方針	令和5年度の取組実績
〈方針〉 新型コロナウイルス感染症の影響は残りつつも、全ての教育活動を全面展開できる今年度、これまでの「あたり前」を見直しつつ、学力向上施策を軸として部運営を展開する。伴って、学習・授業の質的向上や、不登校児童生徒への「学びのアクセス100%」など、推進させべき課題についてはデジタルとアナログをハイブリッドさせ、「大東ならではの」教育活動を着実に展開していく。小中学校においてはICT環境を効果的かつ日常的に活用した学習活動を展開し、個別最適化された学びの実現に向けて取り組み、令和の日本型学校教育で求められる力を着実に身につけられるよう各事業を展開する。今年度、部スローガンは「GO 5 AHEAD！」とする。 〈重点取組事項〉 ①ICTを「効果的かつ日常的」に活用することで、「ICTを活用することで授業（学習）がわかりやすくなる」よう戦略的に各校でのICT活用を牽引する。その中で学びの個別最適化を促進し、児童生徒の可能性を広げる。ひいては児童生徒一人ひとりの学力向上を「現実化」させる。 ②すべての児童生徒が学びにアクセスできる環境を整え、「学びにアクセスできていない児童生徒ゼロ」を「現実化」に近づける。また、児童生徒個々の丁寧な状況把握により長欠・不登校の未然防止に努めるとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、不登校指導員や「ボイス」等と連携できる体制を構築し、きめ細やかな対応を行う。 ③義務教育9年間を一体として捉え、校区としてめざす子ども像を共有し、9年間で育てていく観点を持ち、小中一貫教育を推進、発展させるとともに、「義務教育学校」設置に向けて、ソフト面での研究・調整・連携を進める。	「令和の日本型学校教育」として示されている「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」を実現すべく、学習・授業の質的向上を行うことができた。また、各校が行事や取組み等これまでのあたり前を見直し、教育活動を再構築するとともに、業務改善に向けた教育過程については、市教育委員会の方向づけのもと、各校が主体的に工夫することができた。 3年目であった一人一台端末の活用は、デジタルかアナログかの二項対立ではなく、柔軟で多様な学びの可能性を広げたが、一方で、最重要課題であった学力向上については、未だその途上である。 部スローガン「GO 5 AHEAD！」は部内全職員にうまく浸透し、視覚的効果を狙って配付したスローガンカードは職員のモチベーションを向上させるとともに、令和6年度に向けた数々の業務改善や新規企画等、よりよい施策を各課各人が描くことができた。 〈重要取組事項〉については、以下のとおりである。 ①ICT活用のスローガンを年度途中に「効果的かつ日常的かつ主体的」とし、学力向上に結び付く活用として、いかに児童生徒が「主体的」に活用することができるかを各校に説いた。結果、教職員のICT指導力と、児童生徒の活用力において、ともに数値が向上した。 ②「学びへのアクセス100%」は、ICTの活用他メタパースの活用やボイスのハード面・ソフト面の充実を行った。教育支援センター「ボイス」の利用者は過去最高となり、将来の社会的自立へとつなげるべく、引き続き「学びにアクセスできていない児童生徒ゼロ」を「現実化」に近づける。その意味では校内教育支援ルームの整備が急務の課題である。 ③（仮称）ほうじょう学園についてはカリキュラム研究他、他県他市の情報収集を行うことができた。開校に向け引き続き研究を行う。

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	上下水道局	部長名	岡田 学
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針
「幸せデザイン 大東」（第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略）のまちづくりの理念である「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」に基づき、水道事業においては、令和2年度策定した水道ビジョンの基本理念を「いつまでもつづく『幸せのまち』を支える水道」とした。基本方針の《安全》安全でおいしい水の供給、《強靱》いつでもどこでも安定した給水の確保、《持続》適正な維持管理と経営基盤の強化を実現するため、アセットマネジメントに基づく事業を実施し、災害に強い水道の構築を目指す。又、下水道事業においては、「大東市管路施設ストックマネジメント実施方針」に基づき、重要度の高い施設から順次、点検・調査及び修繕・改築を実施し、下水道施設の長寿命化によりライフサイクルコストの低減を図り、良質な下水道サービスを持続的に提供することを目指す。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%	55. 5%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%	56. 1%		
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
危機管理の徹底						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「災害等に対して安全・安心なまち」 に対する市民満足度		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%
	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%		

【重点分野】						
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化率（本市にかかるもの）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%		

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	（目標値）					
	（実績値）					
	（目標値）					
	（実績値）					

4. 令和5年度取組方針	令和5年度取組実績
水道事業においては、「アセットマネジメント耐震化・再構築計画」に基づき、重要拠点配水管路及び配水場内施設更新事業を実施していく。 下水道事業においては、「ストックマネジメント修繕・改築計画」に基づき、令和3年度に実施した詳細設計を基に、改築工事を実施する。また、「第2期ストックマネジメント実施方針策定業務」・「下水道管路施設詳細設計業務（ストックマネジメント）」を実施し、施設の延命化・長寿命化を図っていく。	水道事業においては、「アセットマネジメント耐震化・再構築計画」に基づき、重要拠点配水管路更新事業として、2件の更新工事（L=173m）を実施しました。配水場内施設更新事業としましては1件の業務委託を実施し、3件の設備更新工事については機器製作中です。 下水道事業においては、「ストックマネジメント修繕・改築計画」に基づき予定していた改築工事を完了させ、施設の延命化・長寿命化を図ることができた。また、「第2期ストックマネジメント実施方針策定業務」・「下水道管路施設詳細設計業務（ストックマネジメント）」を完了した。今年度策定した実施方針に基づき、施設の延命化・長寿命化を推進していく。

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	議会事務局	部長名	竹中 慎太郎
----	-------	-----	--------

1. 中長期的な取組方針
コロナ自粛からWithコロナへと移行しようとする転換期において、さまざまな市民の声を聞き、市政に反映していく市議会の役割はより一層重要となってきている。このことから市政の発展並びに市民の福祉増進に十分寄与できるよう議会事務局自体の機能強化及び事務の効率化を図ることが必要である。また「開かれた議会」の実現をめざすべく「見える化」を推進し、一般質問等での議員資料のモニター表示や本会議等での同時翻訳機能の導入に向けた検討など、今後、議会運営においてトレンドになるであろう機能を早期に取り入れ、市民の皆さまに関心をお持ちいただけるよう情報発信に努めます。引き続き、ICTを活用した新たなサービスの調査研究を行い、積極的に導入していくことで議会運営力の充実と円滑な市政運営に取り組んで参ります。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%	55. 5%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%	56. 1%		
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住みたい自治体ランキング 関西版	（目標値）						30位以内
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外		
議会改革度自治体ランキング （参考）2020 議会機能強化 262位	（目標値）						30位以内
	（実績値）	ランク外	ランク外	ランク外	ランク外		

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%		
ICTを活用した業務の効率化（議会のオンライン会議）	（目標値）		10%	20%	30%	40%	50%
	（実績値）	0%	10%	20%	30%		

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和5年度の取組方針	令和5年度の取組実績
・二元代表制の一翼を担う議会がその責任と役割を十分に果たし、市民の声を聞き、市政に反映できるよう、議会機能を有効に発揮し、市政発展に寄与できるようきめ細やかなサポート体制を強化します。 ・通年議会導入のメリットを最大限活用し、必要とする議決審議のタイミングを逸することなく迅速に対応し、市政運営に議会の意思が反映されるよう、議会と理事者間の橋渡し役として調整を行います。 ・令和4年度より大東市議会公式SNSを創設し令和5年度においても市民に関心をもってもらうため情報発信に努めていく。今年度は特に関心がない若者世代にターゲットを絞り、フォロワー数と共に関心度を高め、若者の議会参加に繋げていきます。 ・議会の「見える化」を推進し、一般質問等での議員資料のモニター表示など、市民が見て・聞いて理解していただける「わかりやすい市議会」を目指します。また同時翻訳機能など、議会運営上で有益となる機能については早期導入に向けて調査研究を行い、議会力向上に努めます。	・年4回の定例会議のほか、通年議会導入のメリットを最大限に活用し令和5年度においては、別途2回の通年議会を開催し、必要とする議決審議のタイミングを逸することなく迅速に対応することができた。 ・令和4年度から開始した議会公式SNS（Instagram・X（旧Twitter））については、令和5年度も引き続き運用し、本会議ごと、委員会ごとにきめ細やかな議会日程を市民に周知し、議会傍聴など市民参加を促すことができた。また会議内容だけに留まらず、市議会の日々の活動なども積極的にSNSで発信し、市民に親しまれる市議会を目指すことができた。SNSを積極的に発信したことにより、少しずつではあるがフォロワー数が増加した。 ・コロナ禍により一時中断していた議会傍聴招待及び議場講演、コンサートを再開することができた。また本会議において議員の一般質問時において議員資料をモニターに表示することにより、市民が見て・聞いて理解いただけることができ、本市議会が目標としている「開かれた議会」にまた一歩近づけることができた。

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式 1-1 (方針)

部名	選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局
----	-----------------------

部長名	辻本 雄大
-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第5次大東市総合計画における考え方の一つである「財政基盤強化」において、今後の行政運営については、新しい取組みに積極的に取り掛かる一方で、既存の取組みを不断の見直し・再編を行うとされており、選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局においても、デジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向けて乗り遅れることのないよう、昨年度に引き続き常に各方面の動向に注目し、総合戦略を着実に推進していく。そのために生活圏視の視点に立った近隣自治体等との連携の検討を進める。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%	55. 5%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%	56. 1%			
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】

総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）

【KPI】(令和7年度)		当初(R2)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	(目標値)		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
	(実績値)	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%		
ICTを活用した行政サービスの提供 (選挙事務にかかるICTの活用)	(目標値)		10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	50%
	(実績値)	0%	0.0%	20.0%	25.0%		

【重点分野】

【K P I】(令和7年度)	当初 (R2)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
(目標値)						
(実績値)						
(目標値)						
(実績値)						

【重点分野】

【K P I】(令和7年度)	当初 (R 2)	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
(目標値)						
(実績値)						
(目標値)						
(実績値)						

4. 令和5年度の取組方針

令和5年度の取組実績

- ・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局において、デジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向け、乗り遅れないことのないよう常に各方面の動向に注目していく。
- ・行政運営が市民に疑念を抱かれることのないように、決算審査、定期監査を始めとする監査業務の充実を図る。
- ・昨年に引き続き、公平委員会事務などについて、府・近隣市との広域連携の検討を行う。

●選挙管理委員会

- ・共通投票所の導入について、前年度に引き続き検討を行うとともに、現投票区の見直しについて１０月に開催された委員会で意見交換を行った。
- ・４月に執行された大阪府知事選挙から不在者投票における投票用紙請求の電子申請について、マイナポータルサイトのビットリサービス利用を開始。
- ・来年度４月の市議会議員・市長選挙より投票所で、代理投票や他の支援が必要な方に活用してもらうため「投票支援カード」を市ＨＰ上に掲載を決定。

令和5年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	会計室	部長名	田川 愛実
----	-----	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

「第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進を下支えする体制（行政サービス改革）を進める方向性として、強靱な財政基盤の確立を図るとともに、デジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向けて不断の改革を行うことが示されている。会計室においては、確実な資金管理の下、安全性を重視した効率的な資金運用を実施し、財政基盤の強化に寄与する。また、税公金納付のキャッシュレス決済拡充や公共料金支払いの一括口座振替化を関係部署と連携して実施し、デジタル化により市民の利便性向上や事務の効率化を図る。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%			
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続のオンライン化	（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
	（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%		
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%		

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和5年度取組方針	令和5年度取組実績
●令和6年1月のISDN回線終了に伴い、指定金融機関、収納代理金融機関との口座振替データ伝送を後継サービスに切り替え、安全なデータ伝送環境を確保する。 ●全庁の各種公共料金支払いの一括口座振替化（令和6年度）に取り組み、事務の効率化およびペーパーレス化を図る。 ●安全で効率的な資金運用を実施するため、関係部署と連携して積立基金の一括運用による債券運用に取り組む。 ●令和5年10月のインボイス制度開始に向けて、本市歳入のうち消費税課税取引をもれなく捕捉し、全庁的なインボイス交付・保存体制を整備する。	●指定金融機関及び全ての収納代理金融機関との口座振替データ伝送を後継サービスに切替え、安全なデータ伝送環境の確保が完了した。 ●公共料金支払事務の一括口座振替化にかかる予算を令和6年度当初予算に計上し、事務の効率化及びペーパーレス化に前進した。 ●積立基金の一括運用による債券運用を可能とするため「大東市資金管理方針」の改正を行い、安全で効率的な資金運用の実施に前進した。 ●インボイス交付に必要なシステム改修・法的整理・保存体制を確立し、令和5年10月からのインボイス制度の開始に対応した。